



学校だより

錦城の詩

平成24年(2012年)

11月28日(第14号)

明石市立錦城中学校

教育研究について

校長 荒井 拓

「教育研究」。意味はなんとなく伝わるだろうけれど……。保護者にとっても、地域の方にとっても、あまり耳慣れない言葉だと思います。逆に、学校の職員にとっては必然的な言葉。市内、いや、おそらく全国すべての学校では、毎年、毎年、その時々の教育課題に鑑み研究テーマを設定し、数年かけて学校教育の内容や指導方法の工夫改善など、研究を実施しています。中には、文部科学省の指定や県教育委員会の指定を受け、研究に取り組む場合もあります。明石市においても、市教育委員会から色々な分野で研究指定を受け、2年間の期間限定で研究を推進し、その成果を発表し、広く市内に還元することも目的としています。(この研究発表会が11月に多く開かれます。)

本年度も市内の中学校において、「生徒指導」「道徳・人権」「体育」の各分野での発表会がありました。他にも「教科・総合」「特別支援教育」など様々な研究が進められています。

さて、本校の本年度の研究。テーマを「生徒指導に特別支援教育の視点を取り入れた全校規模で取り組む SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)」「社会技能訓練」としています。

本校は、一小一中のアットホームで素晴らしい学校です。9年間の義務教育の付き合いで、同学年だけではなく他学年や教職員、保護者、地域の方の顔と名前が一致し、「誰もが自分のことを知っている」という暖かい環境で安心して勉学に励むことができます。明るく、伸び伸びと学校生活を送ってくれています。錦中で良かった！錦城で正解！と感じてくれる人が多ければ嬉しいのですが…。しかし、物事は絶えず裏表。もろ刃の剣。ふたつよいことささないものです。子どもたちの切磋琢磨という面ではどうでしょう。新しい自分を発見することではどうでしょう。大集団の中での自分の立ち位置を考える点ではどうでしょう。新しい人間関係を作るということではどうでしょう。誰かに憧れるという点ではどうでしょう。

私たち大人(教職員、保護者、地域人の三者がそれぞれ)が連携して、本校の長所を生かしながら、弱いと思われる部分を補強する仕掛けが必要であると考えています。

そこで、今年度の本校研究テーマ。近年、少子化や高度情報化など価値観の多様化を背景とする中で全国的に中学校において不登校、いじめ、校内暴力、怠学などの学校不適応の課題の深刻さがあげられています。子どもたちの生活環境において、人間関係が希薄化し日常の対人関係を通しての良好なコミュニケーション力の育成する機会が減少傾向にあると

の指摘もあります。

本校においては、そのアットホームさから、人間関係において「よく知っているから」「分かってくれているだろう」「あいつのことだから、きっと…」などと軽く流してしまうケース(勿論、それでうまくいっていることが多いだろう)があるように思われます。人間関係づくりには、それなりのスキル(技術)がいるだろうし、そのスキルを身に付けることによって、より好ましい人間関係、より深い信頼関係につながります。総合的な学習の時間を主として「SST」に取り組み、「ことばの力」を高める授業を実践しています。「コミュニケーションスタートスキル」「コミュニケーションキープスキル」「意思伝達スキル」「ごめんスキル」「セルフマインドコントロール」「トラブル解決スキル」を練ることによって、めざす生徒像の実現を期するものです。具体的な授業例をあげますと、『上手な断り方』(6月に全クラスで研究授業実施)では、教師によるロールプレイ(場面は「宿題を写させてくれ」に対する断り)。断りのパターンの分析と評価。生徒が2人1組となつての実践。まとめ。を1時間の授業で取り組みました。生徒は興味深く取り組み、楽しい中にも、スキルとしての納得を体得していました。

他にも『上手な聴き方』『あたたかい言葉かけ』『上手なあやまり方』など、指導案を作成するところから、教師が授業展開を練っています。担任教師と生徒の程良い距離感の中、学年に応じた授業となっています。

しかしながら、スキル学習はいわゆる「マナー講座」で終わってはなりません。スキルは身に付けているほうが良いのに決まっているけれど、土壌となる「心の在り様」が一番大事だし、中学生の頃こそ「心の教育」を大切にしたいと考えています。心に響くかどうか、人間形成にとって重要でありましょう。教科学習、学校行事や部活動などの全教育活動(特に「道徳」の時間)の中で、子どもの心を揺さぶり、悩ませ、大いに葛藤させ、そこから生まれる尊い本物の想いを持たせたい。道徳的実践力を高めたい。人権感覚を磨きたい。そのことを基盤として研究テーマに迫っていきたいと思います。



平成24年6月に実施した授業研究(3年2組&1年1組)